

# 自ら考え、行動し、未来を「拓く」人を育てる

表題に掲げた言葉は尼崎市が策定した市立高校3校共通のスクールミッションです。

本校もこのミッションを具現化するための様々な教育活動に取り組んでいます。9月10日(土)には「**尼崎市スマホサミット2022**」に1年生が参加し、市内の小中学生やPTA、県内の大学生とスマートフォン等の使用にかかわるルールづくりに関して**校種の枠を超え**るとともに、**大人とも考える機会**を持ちました。サミットの活動の場を通して、自分で考えたり意見を発表したり、小中学生や大学生、大人と交流するとともに、このサミットにご参加いただいた尼崎市の稲村市長からもご意見をいただくなど、生徒たちにとっては実りのある大変貴重な経験の場となりました。

今年度、4月からスタートした**新しい学習指導要領**では教育内容の主な改善事項として「言語能力の確実な育成」が掲げられており、その中で「学習の基盤としての各教科等における言語活動＝**自らの考えを表現して議論すること、調査などのプロセスと結果を整理し、報告書にまとめること**」の充実が言われています。そういう意味でもこのスマホサミットは大変意義ある活動であったと言えます。

また、つい先日は関西学院大学 社会学部の教授と尼崎市立花(たちばな)地域振興センターの所長が来校され、**関学の学生と本校の生徒が「尼崎のまちの悩みを解決しよう」というテーマのもと一緒に活動し、学習しながら解決策を考え、発表する。また、状況に応じて、その解決策の実施に向けて行動を起こす**という立花地域課と関学との共同企画の話をしていただきました。10月20日(木)16時40分から本校511教室で生徒向けの説明会があります。まさしく本市のスクールミッションや、新しい学習指導要領にマッチしたこの企画に、人数制限はあるそうですが、できる限り多くの生徒が参加できればと思います。

## 【スマホサミット2022】





